

知的財産契約の実務（第16回）

ライセンス契約における管理業務 —ライセンス契約締結後の管理業務の重要性を考慮して—



青山学院大学法学部特別招聘教授
石田 正泰

目次

はじめに

I ライセンス契約の概要

1. 企業経営における知的財産契約の考え方
2. 知的財産契約の位置づけ
3. ライセンス契約の契機・目的
4. ライセンシングポリシー
5. ライセンス契約による企業経営に資する知的財産化
6. 知的財産ライセンス契約の効果

II ライセンス契約の実務

1. ライセンス契約の事前調査
2. ライセンス契約の戦略
3. ライセンス契約の交渉
4. ライセンス契約における法的リスクマネジメント

III ライセンス契約締結後の管理業務

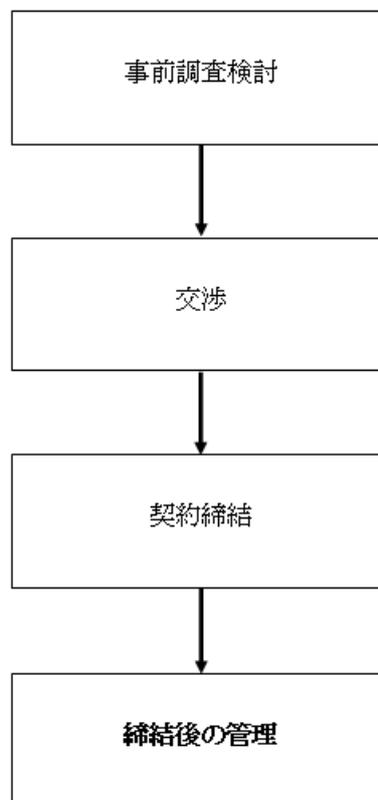
1. 契約管理についての基本
2. ライセンス契約の管理
3. ライセンサー、ライセンシー共通の管理項目
4. ライセンサーの管理項目
5. ライセンシーの管理項目
6. 制度的、戦略的管理項目

まとめ

はじめに

知的財産制度は、経済・産業、文化の発展のための政策法制であり、企業経営においては、知的財産を戦略的に活用して、イノベーションの促進を図り、知的財産経営の定着を図ることが期待されている。特に、戦略的知的財産契約に適切に対応した企業経営に資する知的財産化が重要である。

そして、企業経営に資する知的財産のポイントは、質の良い知的財産と具体的な戦略及び人材の存在であり、特に、契約による企業経営に資する知的財産化が重要である。いわゆる、「企業経営に資する知的財産」とは、特定の知的財産自体ではなく、企業が保有する知的財産の機能を十分に発揮させる戦略及びそれを実行する人材・組織により経営戦略に練り込まれた位置付けにおける知的財産、即ち、「企業経営に資する知的財産化された知的財産」と解すべきである。なお、知的財産契約の管理とは、広義には、知的財産契約業務全体の管理を意味するが、ここでは一般的な用法にならない、知的財産契約締結後の管理業務、特に、ライセンス契約を中心に言及する。



I ライセンス契約の概要

知的財産制度は、経済・産業、文化の発展のための政策法制であり、企業経営においては、知的財産を戦略的に活用して、イノベーションの促進を図り、知的財産経営の定着を図ることが期待されている。特に、戦略的知的財産契約に適切に対応した企業経営に資する知的財産化が重要である。

企業経営における戦略的資源としては、知的財産が極めて重要な位置を占めている中で、企業経営に資する知的財産のポイントは、質の良い知的財産と具体的な戦略及び人材の存在であり、